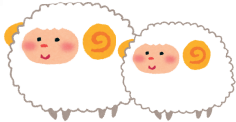


第34号

謹賀新年



本年もどうぞよろしく申し上げます。

明けましておめでとうございます。



昨年12月に催したクリスマス会では200名近くの利用者さんをはじめ、多くの関係者の皆様にご参加いただきました。開催

にあたって、お餅つきやお料理、イベントなど、いろいろな形でご協力いただきました皆様に心より御礼を申し上げます。

昨年は2年目を迎えた事業がふたつありました。そのひとつ、浦安市基幹相談支援センターでは、地域連携会議や公開事例検討会、新制度や障がいなどに関する勉強会、スキルアップ講座などの事業を通して、地域の様々な支援者の皆様と顔が見え、名称の通り地域の基幹として連携が取れるようになってきた実感がありました。

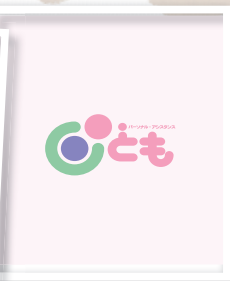
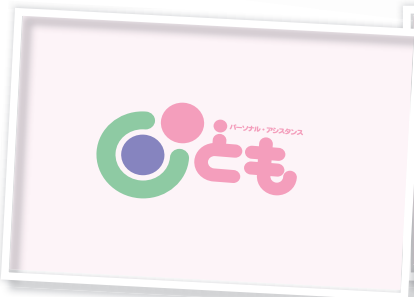
もうひとつの浦安市身体障がい者福祉センターは、少しずつ生活介護と機能訓練のご利用者様が増え始め、介護、リハビリ、看護、医療（嘱託医）などの多職種が存在が、利用者さんはもとより地域の他機関の方にとっても社会資源のひとつとして機能してきたように思っています。

また、ふありと浦安市障がい者等一時ケアセンター、パーソナル・アシスタンスとも生活支援事業所では、医療的なケアの子どもたちのご利用が増えました。

今年は、昨年度の成果をさらに拡充しながら、自立支援協議会でも地域課題として解決に時間がかかっているヘルパー不足や、行動障害、医療的ケアなど高い支援スキルが求められる方たちへの支援と住まいの問題等の解決に向けて、具体的な方向性を示せるように、多くの皆さんと共に引き続き尽力していきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 西田 良枝



身体障がい者福祉センターでの 医療的ケア



身体障がい者福祉センターでは、ご利用者の健康面全般のサポートとともに、医療処置が必要なお利用者の支援も行っております。

吸入や気管切開からの吸引、胃ろう・腸ろうからの栄養やお薬の注入、摂食訓練や歯磨きの指導などご利用者の状況にあわせ多岐にわたって支援をしております。

ご利用の際はご家族と密にコミュニケーションをとり、主治医と十分な連携をとっています。また支援員の吸引や胃ろう処置の指導もおこなっています。

医療処置が必要でも地域で自分らしく活動できるよう看護師チームでサポートしたいと思います。



看護師 K

一時ケアセンターでの 医療的ケア



一時ケアセンターは日中だけでなく必要があれば夜間早朝の利用及び宿泊も可能です。

利用者の中には喀痰吸引や胃ろうからの経管栄養が必要な方、また糖尿病合併のため血糖降下剤の自己注射を行っている方など、さまざまな医療ケアが常に必要な方たちもいます。

ご自宅で過ごすのと同じように一時ケアセンターを利用していただけるよう、家族と同じもしくはそれ以上の細やかさをもってケアする必要があります。そのために、利用者やそのご家族から情報を提供していただき、かつ主治医とも連携を図り、あらゆる場面を想定したマニュアル・フローチャートを作成しています。もちろん正しく確実な手技を獲得できるよう看護師や支援員もスキルアップを図っています。

これからも地域での生活をありのままに過ごせるよう障がいのあるひとたちの気持ちに沿ったケアを継続していきたいと思っています。



看護師 I

自立支援協議会報告

【浦安市自立支援協議会について】

平成26年10月2日以降に開催された会議についてお伝えします。

【自立支援協議会】

11月10日（月）、第4回自立支援協議会。以下、4つの議題で催されました。

議題1.部会活動報告。議題2.合同部会の進行について。議題3.平成27年、28年度の協議会の組織構成や委員について。議題4.重度障がい者医療給付事業についての説明。

【地域生活支援部会】

10月15日（水）、第3回地域生活支援部会。

障がい者総合支援法では障がい種別を問わず、障がい児・者の地域生活を更に推進する観点から、障がい者の高齢化、重度化、親亡き後の地域生活を見据えた地域における居住支援と地域生活全般を支援する機能を一体的に整備することが提

言されています。

そこで本部会では、「地域生活支援拠点グループホーム併設型」整備についての要望書を浦安市に提出するための議論を行ってきました。

論点としては、①グループホームを併設すると特定の人たちがずっとそのグループホームで暮らし、色々な障がいのある人たちが使える資源にならずに不公平。グループホームを併設しても、そこで暮らす期間を決めるべき。②障がいの重い人が暮らすグループホームは、民間の事業者だけでは運営が困難。公平性というのは地域で誰もが「安全に寝る、食べる、暮らす場所がある」と言う事では？ 民間事業所の力だけでは「出来ない事」に、行政が力を注ぐべきではないか。

本部会の結論としては、地域生活支援拠点の整備は必要であり、行政に要望書をまとめることは賛成であるが、グループホーム併設するかしないかは意見が分かれ、本部会としては、グループホームの併設は要望しないことになりました。その他、障がい者福祉計画策定について意見交換を行い、訪問介護事業所に行ったサービス提供についてのアンケート集計結果の報告を行いました。

「ボディ・メカニクス研修」を行いました

“とも”では職員向けに、理学療法士によるボディ・メカニクス研修を行いました。福祉を支えるヘルパーさん、また当事者のご家族の方々にも腰痛に悩まれている人は多いのではないのでしょうか？日本人の約80%が腰痛を経験しており、そのうち80%は原因不明とされ、多くが8～12週で治癒しますが、再発率も約60%と非常に高い疾患です。普段の生活の中で以下の2点にご注意いただくことで腰痛予防に効果が期待できます。

① 股関節を柔軟に保つこと。

重いものを持つ時は腰から前屈みにならず、背筋は伸ばしたままで膝や股関節から曲げるようにしましょう。股関節が固いと姿勢が悪くなり、腰痛を起こしやすくなりますので、お風呂上りなどに股関節まわりのストレッチを行って身体を柔らかく保ちましょう。ストレッチは反動をつけずに20秒～30秒ゆっくり行くと効果的です。

② 腹圧をかけることで腰への負担を減らすこと。

腰痛時に処方されるコルセットは、腹圧をかけて背筋の負担を減らすことで腰痛患者の腰を守ります。しかし、長期に渡って使い続けると腹筋力を弱め、かえって腰痛の原因になります。日常的におなかの筋肉を働かせて腹圧をかけることで、コルセットの働きを自分の身体で行うことができます。

理学療法士 |

※ 痛みや違和感が長期間にわたって続くときは病院に受診することをお勧めします。
腰痛から発見される重大な疾患もありますので、早めに受診して疾患名を明らかにすることが大切です。



～ 太ももの裏のストレッチ ～



～ 股関節のストレッチ ～



～ 腹圧アップを促すポーズ ～

【本人部会】

11月27日（木）、第2回本人部会を開催。本部会は、基幹相談が進行を担当している部会です。議題1は、自立支援協議会の活動について。議題2は、障がい者福祉計画について。議題3は、浦安市役所新庁舎のユニバーサルデザインについての意見交換。でした。

議題1では、本部会でも検討された事項と関連した議論が行われた地域生活支援部会と権利擁護部会について報告をしました。それを受けて委員からは、地域生活支援部会の議論について「障がい者が重い人たちは住まいを選べるほど社会は成熟していない。選択することが出来ない状態の中、期間限定で利用するグループホームを作って、そのグループホームを出たあと次に住む場所があるのだろうか？」という投げかけがありました。

また「車いすを利用しなければならなかったり医療機器が必要だったりする人にとってはスペースの確保とバリアフリーが必要で、簡単に民間のアパートなどでは暮らせないので、公的な支援としてグループホームの併設が必要なのでは？」という意見も出されました。

議題2は障がい者福祉計画について議論し、議題3については委員から、トイレについての意見が多く出されました。また「障がい福祉課の窓口が市民ですぐにいっぱいにならないように広いスペースが良いと思う」という意見もありました。

【権利擁護部会】

10月23日（木）、第3回権利擁護部会が開催。議題1は、障害者差別解消法施行に向けての取り組みについて。議題2は、障がい者福祉計画について。議題3は、啓発広報活動について意見交換を行いました。議題4では、浦安市虐待防止センターへの通報件数についての報告がありました。

また、権利擁護部会が中心となって、学校等の福祉教育や研修で活用してもらいたいとの思いを込めて作成した「バリアフリーハンドブック」が、地域の様々な機関で活用されているとの報告がありました。



後援会「とまと歩む会」のお知らせ

新年あけましておめでとうございます。

「とまと歩む会」は本年も力強く「パーソナル・アシスタンスとも」を応援してまいります。

私の今年の抱負は、仕事や役割を果たす為に健康でいること。そして楽しむ時間を持つことです。皆様はいかがでしょう。

12月のクリスマス会には大勢の方々にご参加頂きました。

参加して頂いた皆様、お手伝い頂いた方々、ありがとうございました。

通信の本文で、クリスマス会の様子をご報告しております。

今年も皆様にとって、良い年になりますように。

「とまと歩む会」申し込み方法

◆年会費は 3,000 円です。

◆都合上、4 月に更新とさせて頂いております。

◆4 月発行のとも通信に振込取扱票を同封させて頂いております。

口座番号・郵便振込先：00120-0-536557 / 名 義：中田光昭

発行：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも

〒279-0022 千葉県浦安市今川1-14-52

＜編集後記＞明けましておめでとう御座います。あっという間に一年が経ちました。まだ寒い時期は続きますが、これからも明るく心温まる報告をさせて頂きたいと思えます。

【S】